

見積業者選定経過書

1 業 務 名	フィールド研修実践事例作成業務
2 応募者数	5 者
3 委員会の構成 委員長 委員	委員長氏名 臼井 学（学びの改革支援課長） 委 員氏名 一色 保典（学びの改革支援課義務教育指導係長） 太田 光洋（信州幼児教育支援センター長） 橋爪 典子（幼児教育コーディネーター）
4 選定基準	○東信、南信、中信、北信内で、それぞれ合計点の最も高い園を選定する。 ○全県で、合計点の最も高い園・小学校を選定する。 ○得点が、同点の場合は審査項目の a)～e) または f)～j) の合計点が高い園を選定する。 ○公立私立、園種（幼稚園、保育園、認定こども園）のバランスを考慮して選定する。
5 選定結果 選定された者 評価点集計結果	1－1 東信 甘露保育園（上田市） 80.0 点。東信で一位であったため選定した。 1－2 南信 伊那市立高遠保育園 80.5 点。南信で一位であったため選定した。 1－3 中信 松本市立本郷南幼稚園 82.75 点。中信で一位であったため選定した。 1－4 北信 長野市立東部保育園 81.5 点。北信で一位であったため選定した。 2 園小接続 申し込みなし
6 企画提案を求める具体的 内容	どのように質の高い幼児教育を実現させるか、または、どのように円滑な園小接続の取組を実現させるか、実践事例案を提出する。実践事例案については、次に掲げる a)～e) または f)～j) の要素を盛り込む。 質の高い幼児教育の実現 a) 幼児期の特性を踏まえた、環境を通して行う保育 b) 情緒の安定（養護）と教育の一体化 c) 遊びを通しての総合的な保育 d) 幼児一人一人の発達過程、特性に応じた保育 e) 子育て支援、家庭との連携 円滑な園小接続の取組 f) 幼児期から児童期への学びの連続性 g) 園小接続期の教育の質向上のための環境の構成や環境づくり h) 接続を見通した教育課程の編成・実施 i) 共に学び合うインクルーシブな保育・授業 j) 園小接続のための連携・接続の体制

7 企画提案で評価された点	○事業の内容 本事業の趣旨に合致した企画内容になっていたこと ○事業実地主体の経験・的確性 上記6のa)～e)またはf)～j)の要素を高いレベルで盛り込んでいたこと。
8 総合的判断	選定した4園の設置者は公立3園、私立1園であり、園種は幼稚園1園、保育所3園であることから、公立私立、園種のバランスも適切であると判断した。